

交通計画ニュース

～だれもが安全で快適に移動できる交通体系をめざして～

第9号

平成31年

2月発行

第15回 鎌倉市交通計画検討委員会を開催しました！

主な検討内容及び報告内容についてお知らせします。

- ◆日 時:2018年11月30日(金)
- ◆時 間:午前10時00分から午前11時40分まで
- ◆場 所:鎌倉芸術館 3階 会議室1
- ◆主な議題
 - (1)(仮称)鎌倉ロードプライシングについて
(国土交通省実験協議会の報告)
 - (2)交通シンポジウムについて
 - (3)歩行者尊重道路について



第15回検討委員会の様子(2018.11.30)

議題1:(仮称)鎌倉ロードプライシングについて(国土交通省実験協議会の報告)

第2回鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会の概要を報告しました(2018年7月31日)

主に「最近の国の動き」や「鎌倉地域の交通状況」について、報告がありました。

■最近の動きについて

政府の取組方針として、平成30年6月15日に未来投資戦略2018—「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革—が閣議決定され、観光地における交通需要調整のための料金施策の検討等の取組を推進することが位置づけられました。

さらに、同日、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(骨太方針)においても同様のことが位置づけられました。

これらにより、2020年の(仮称)鎌倉ロードプライシング導入に向けた鎌倉市の取組に対する国の支援が明確になりました。



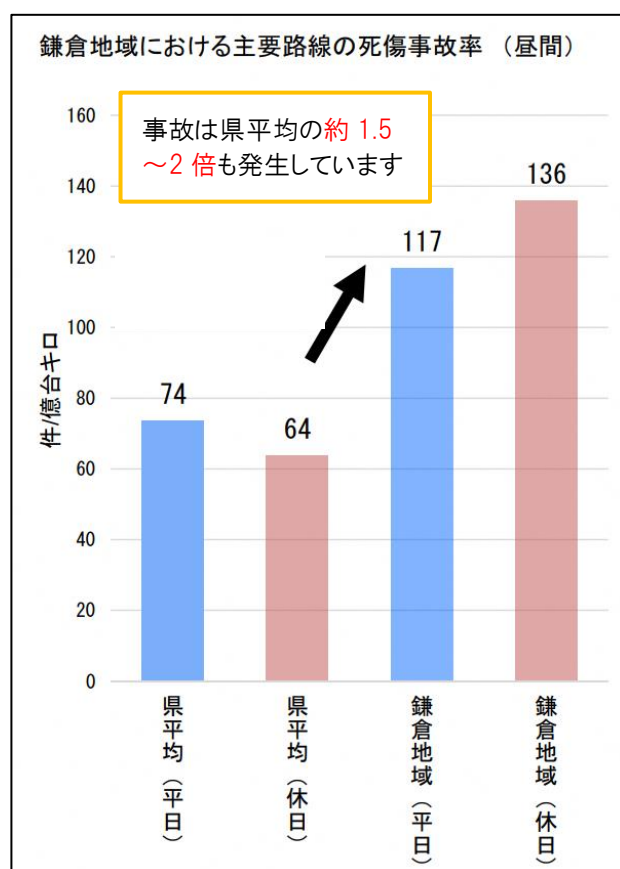
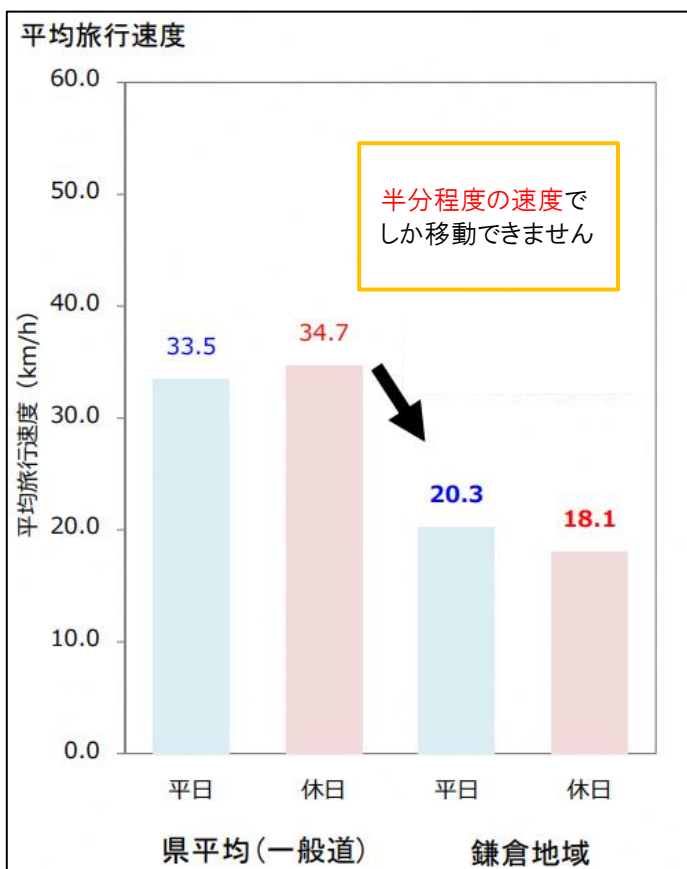
(仮称)鎌倉
ロード
プライ
シングを
国が全面的
に支援!!

引用:「第2回鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会会議資料」

■鎌倉地域の交通状況について

新たな観測機器の設置等により、住民の方々が感じている地域の交通実態がデータでも明らかになりました！

鎌倉地域の移動における平均旅行速度 (走行した区間の延長を走行に要した時間で割って算出したもの)	渋滞により、県平均と比べ 半分程度 の速度でしか移動できません (左下図参照)
鎌倉地域の主要路線の死傷事故率	県平均と比べ 約 1.5～2 倍に増加 (右下図参照)
救急搬送の所要時間 (横浜鎌倉沿線地域から湘南鎌倉総合病院まで)	平日と比べ 休日は倍程度になっている
鎌倉地域の消防の現場到着までの平均旅行速度	平日と比べ 休日は約半分に低下



※データ : ETC2.0 プローブ情報(2017.4~2018.3) 7:00~19:00 の 12 時間平均旅行速度

※対象路線 : 道路交通センサスの対象路線(一般道) 鎌倉地域の対象路線は国道 134 号,(主)横浜鎌倉線,(主)藤沢鎌倉線,(一)金沢鎌倉線,(一)鎌倉葉山線

引用:「第 2 回鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会会議資料」

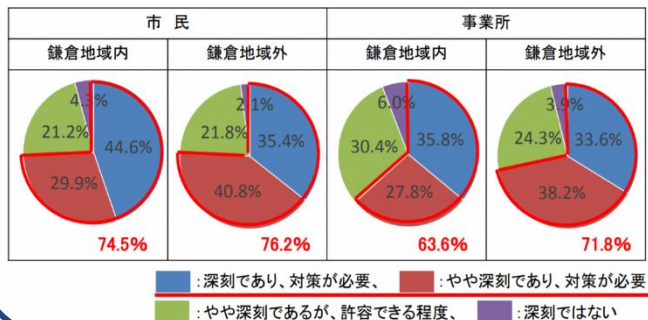
会議で用いた資料や議事要旨は、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所のホームページ(「かながわのみち情報」→「鎌倉エリア観光渋滞対策」)をご参照ください。

議題 2:交通シンポジウム等について

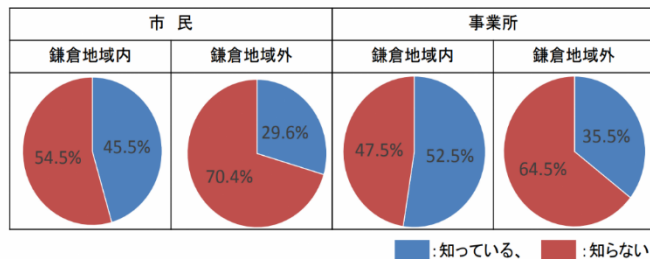
(仮称)鎌倉ロードプライシングの認知方法について

平成 28 年度に実施した交通実態調査アンケート結果からも、交通渋滞対策の必要性が高いことがわかります。一方、現在鎌倉市が取り組んでいる(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、「知らない」と回答された方が多く、認知や理解を高めていく必要があります。

Q 休日(土日祝日)の鎌倉地域の交通渋滞について
どのようにお考えですか？



Q 鎌倉市がロードプライシングの検討を進めていることを知っていますか？



引用:「第 2 回鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会会議資料」

このため、市民の皆様には(仮称)鎌倉ロードプライシングについて広く知っていただくよう、「オープンハウス」「意見交換会」「シンポジウム」を開催しています。

オープンハウス

市役所や支所等でロードプライシングの検討内容についてパネルを展示しました。市民の皆様には広く知らせ、理解を深めていただきました。



2018.12~2019.3
開催

意見交換会

商工業者の方や自治会の方に対して、ロードプライシングの必要性や導入までのスケジュールを示した上で、まちの将来像について意見交換を行いました。



2018.12~2019.1
開催

シンポジウム

商工業者の方、自治会の方及び市民の皆様を対象に、鎌倉市長や学識経験者等が基調講演とパネルディスカッションを実施し、現在の交通問題や目指すべき鎌倉のまちの姿について、議論を行いました。



2019.1.27 開催

議題 3: 歩行者尊重道路について

小町大路(辻説法通り)のこれまでの検討状況について

昨年度の検討委員会で優先順位を決定し、最初に取り組んでいくことを決定した「小町大路(辻説法通り)」について、これまで2回のワークショップ※を開催しました。第1回では、沿道の方とのまち歩きや意見交換を行い、課題意識を共有しました。第2回では、第1回の意見を踏まえ、沿道住民の方々と安全対策に関する意見交換を行いました。

《第1回ワークショップ》

まち歩きでは道路の利用状況や危険箇所の点検確認を行いました。これを受けて、気になる点や改善点、良い点等の意見交換を行いました。

■ワークショップの主な意見



電柱がない箇所や交通量が少ない時の車のスピードが速い



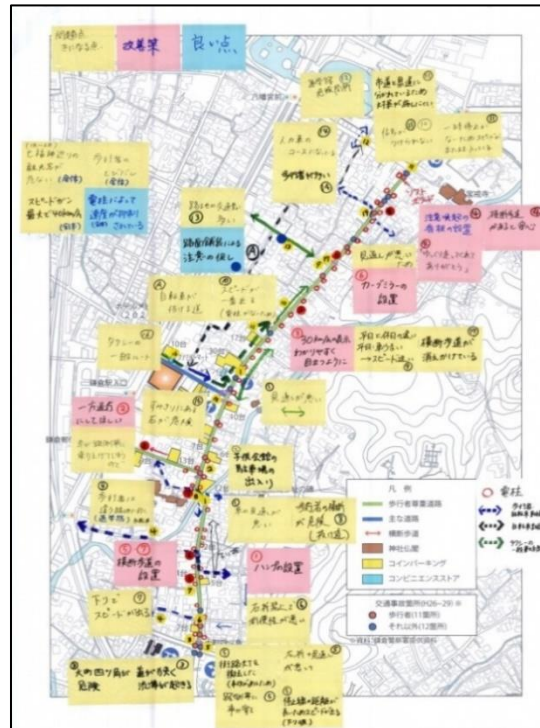
クルマの速度を抑制させる対策が必要



注意喚起の看板を設置した方がよいのではないか



電柱によって車の速度抑制がされている



【ワークショップで作成した課題図】

《第2回ワークショップ》

■安全対策に関する主な議論

出席者



北側から鎌倉婦人子供会館方向に向かってスピードを出すクルマが多いため、この区間にハンプ※を設置することには賛成



ハンプを設置することによって、自宅への車庫入れなどは不便にならないのか



注意喚起などで看板を設置する場合は、小町大路の出入り口だけでなく、人目につきそうな箇所に設置してほしい

市及び学識経験者

鎌倉婦人子供会館の駐車場前に設置をする場合、ハンプと民有地とのすりつけは、排水等の関係が課題になります

ハンプは交差点や、クルマの出入りのない箇所に設置することを検討しています

看板は適切な間隔で設置し、設置数や内容の情報量には注意が必要です

今後、ワークショップを受け安全対策計画(案)について、地元の皆さんと意見交換を行ってまいります。

※ワークショップ) 沿道自治会の住民などがお互いの意見を持ち寄り、課題共有・問題解決を目指す小規模な集会のこと
※ハンプ) 道路の上に設置することで自動車の速度抑制の効果がある凸部のこと

◆これまでの 鎌倉市交通計画検討委員会 及び 歩行者尊重道路 の資料等は、市ホームページでも見ることができます。
URL: <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/kentou-iinkai.html>

お問い合わせ先: 鎌倉市 共創計画部 交通政策課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL: 0467-23-3000 (内線: 2510) FAX: 0467-23-8700

E-mail: koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp HP: <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp>

検討委員会の
ページはこちら

